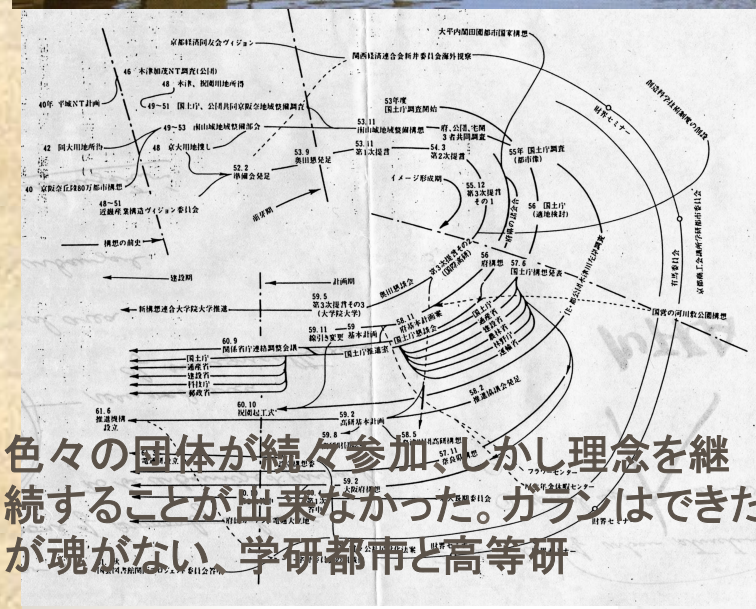
■ Mastersへの独断的提案

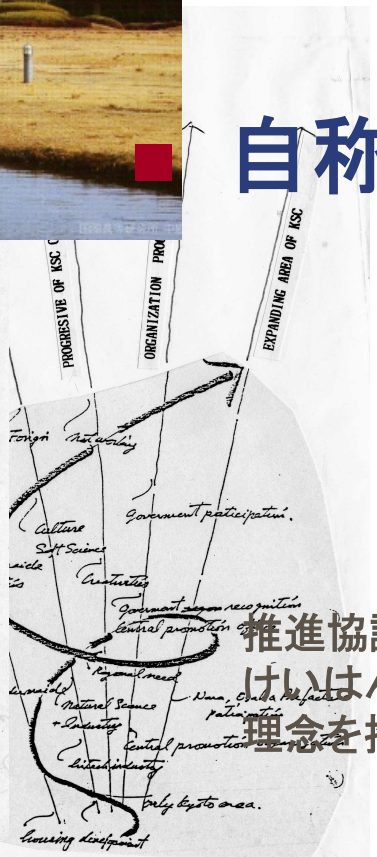
■ 未来の戦略シンク&doタンクを目指して

国際高等研、空洞のガラン

2012.09.12

■ 自称未来担当　霜田稔

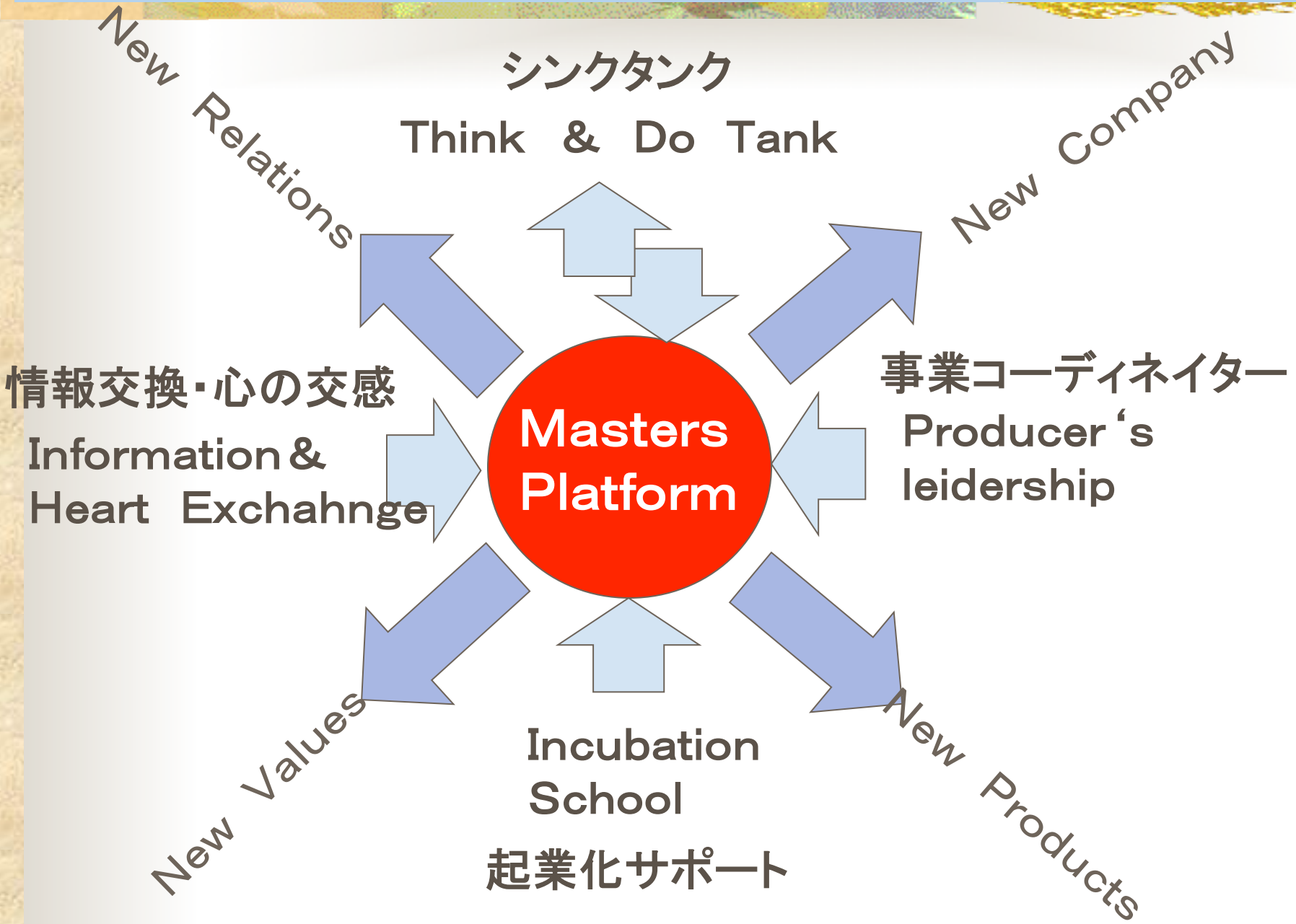




色々の団体が続々参加、しかし理念を継続することが出来なかった。ガランはできたが魂がない、学研都市と高等研

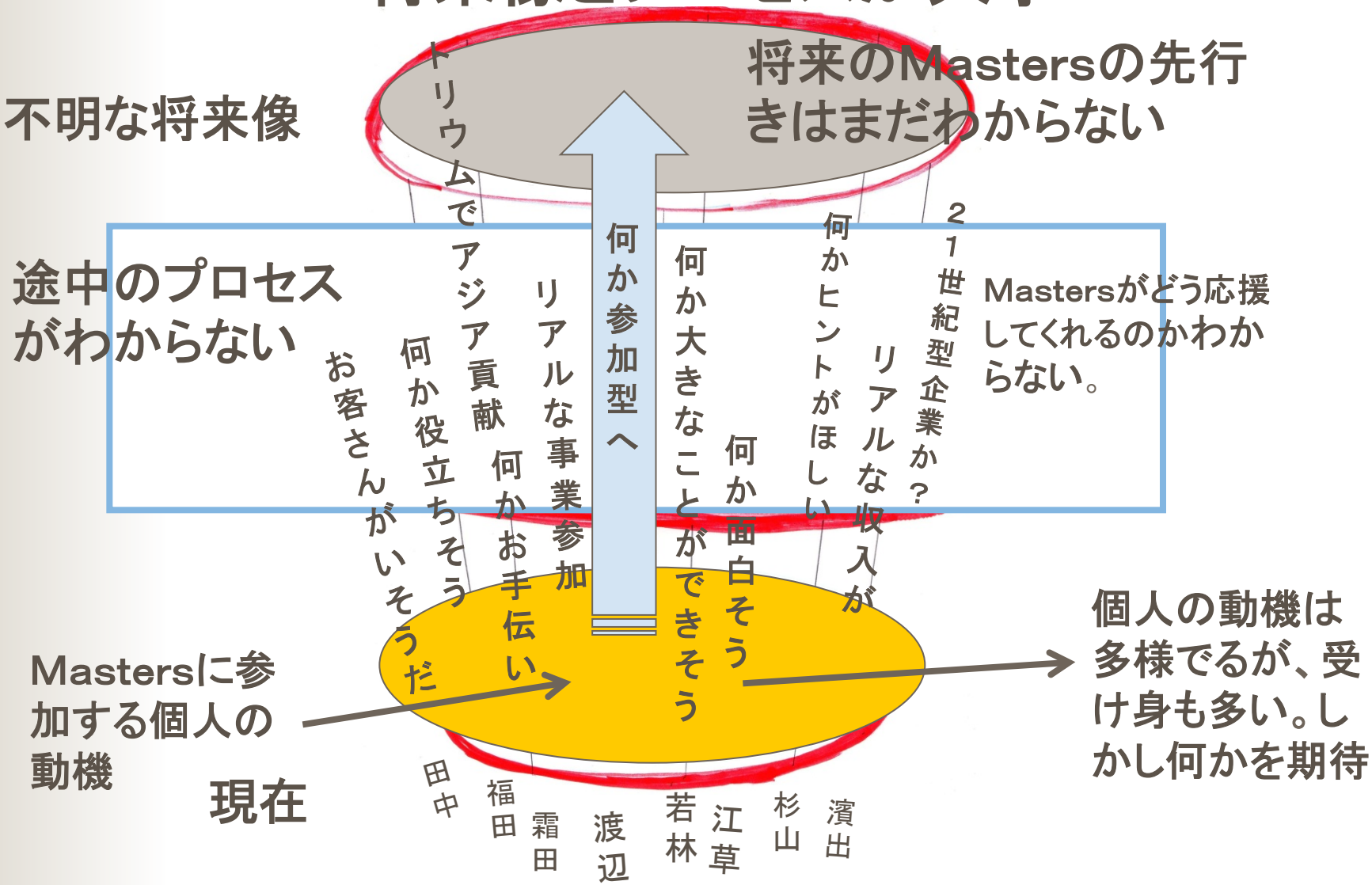
推進協議会、推進機構、特別法、高等研。けいはんなプラザ、段階的発展はしたが、理念を推進するシンクタンクがなかった。

Masters 4 Visions（行動と夢）



Masters の参加者の初動の動機と問題提起

将来像とプロセスが大事



Mastersグループ

所属会社名刺ではなく、何をサービスできるか、何のサービスをもとめるのかPR、

Masters
提供するサポート内容を提起する

可能なサポート

可能なサポートの内容
- 市場ノウハウ
- 資金情報。・制度情報
- 人脈
- 事業計画
- アソシエ―ション仲間
- 事業機会
- 投資機会
- 事務スペース
- 会計、弁護士等の法的サービス

参加者の求めるニーズと提供できるサポートをより明確に

求むサポート

可能なサポート

会員・プロジェクト
求めるサポートを明確化

求むサポート

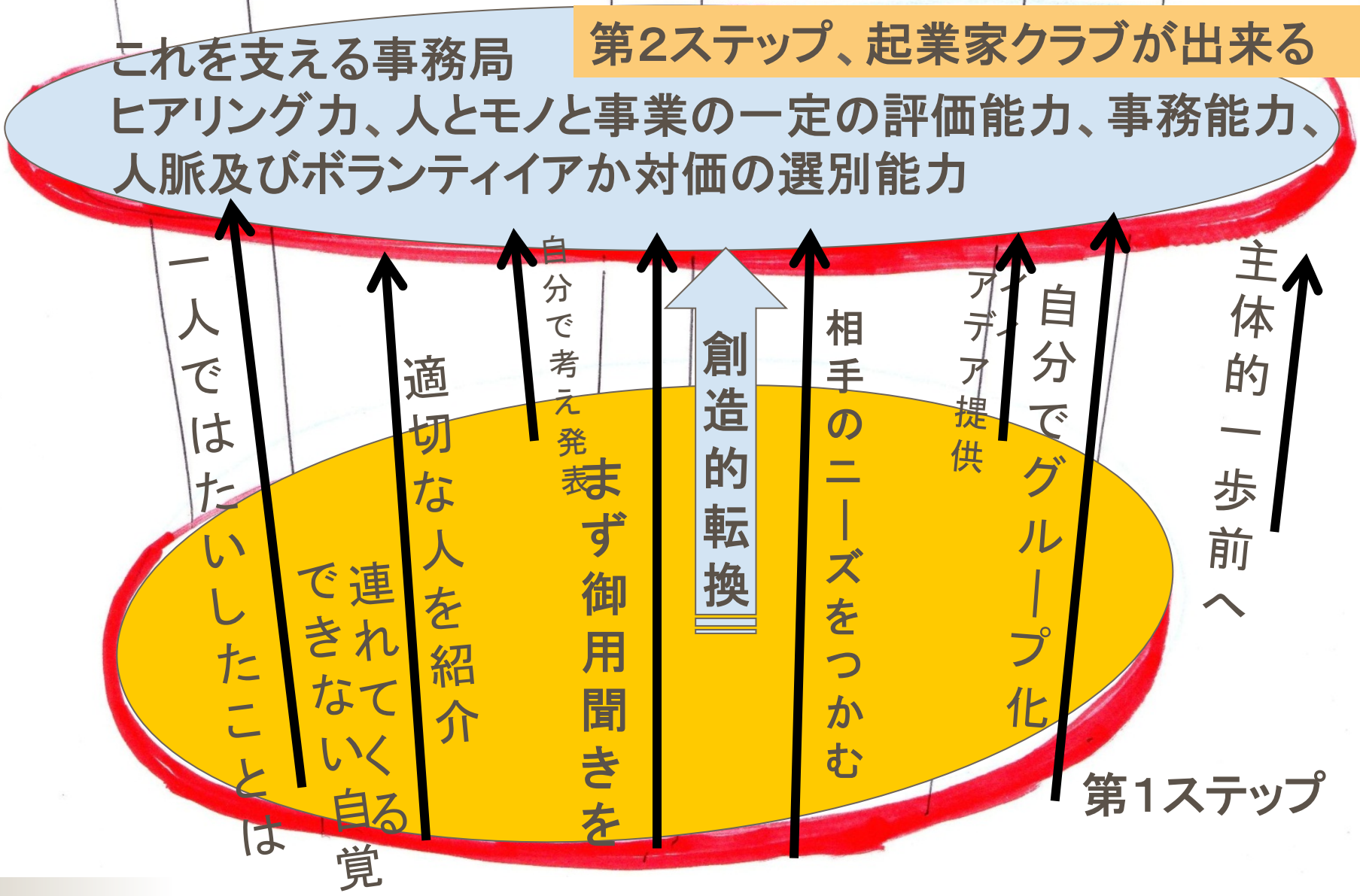
可能なサポート

会員
求める、提供するサポートを明確に

可能なサポート
会費+情報+出資

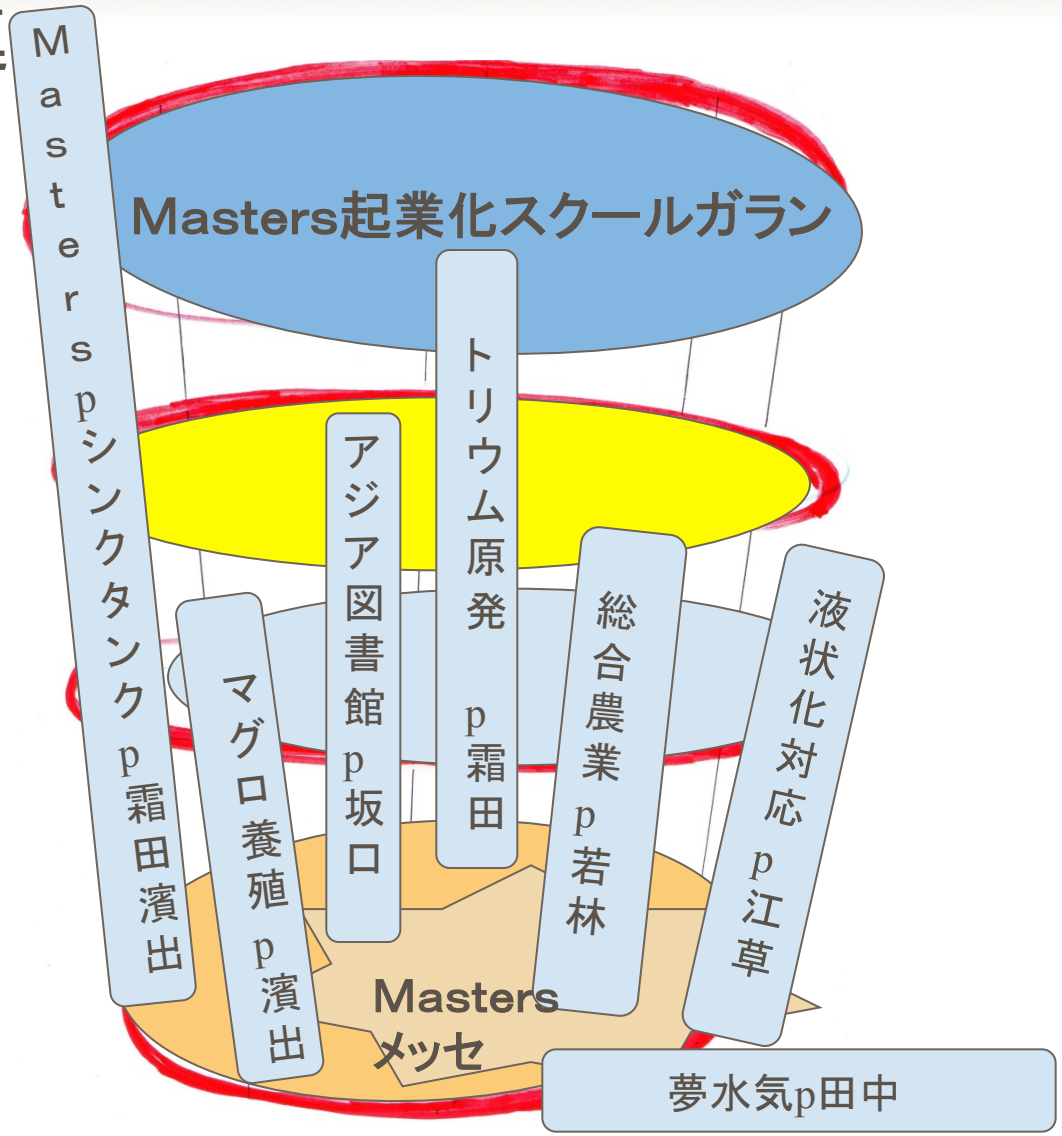
サポートへの応答
（金銭謝礼、その他）

そして参加者のバージョンアップ



参加動機のバージョンアップ

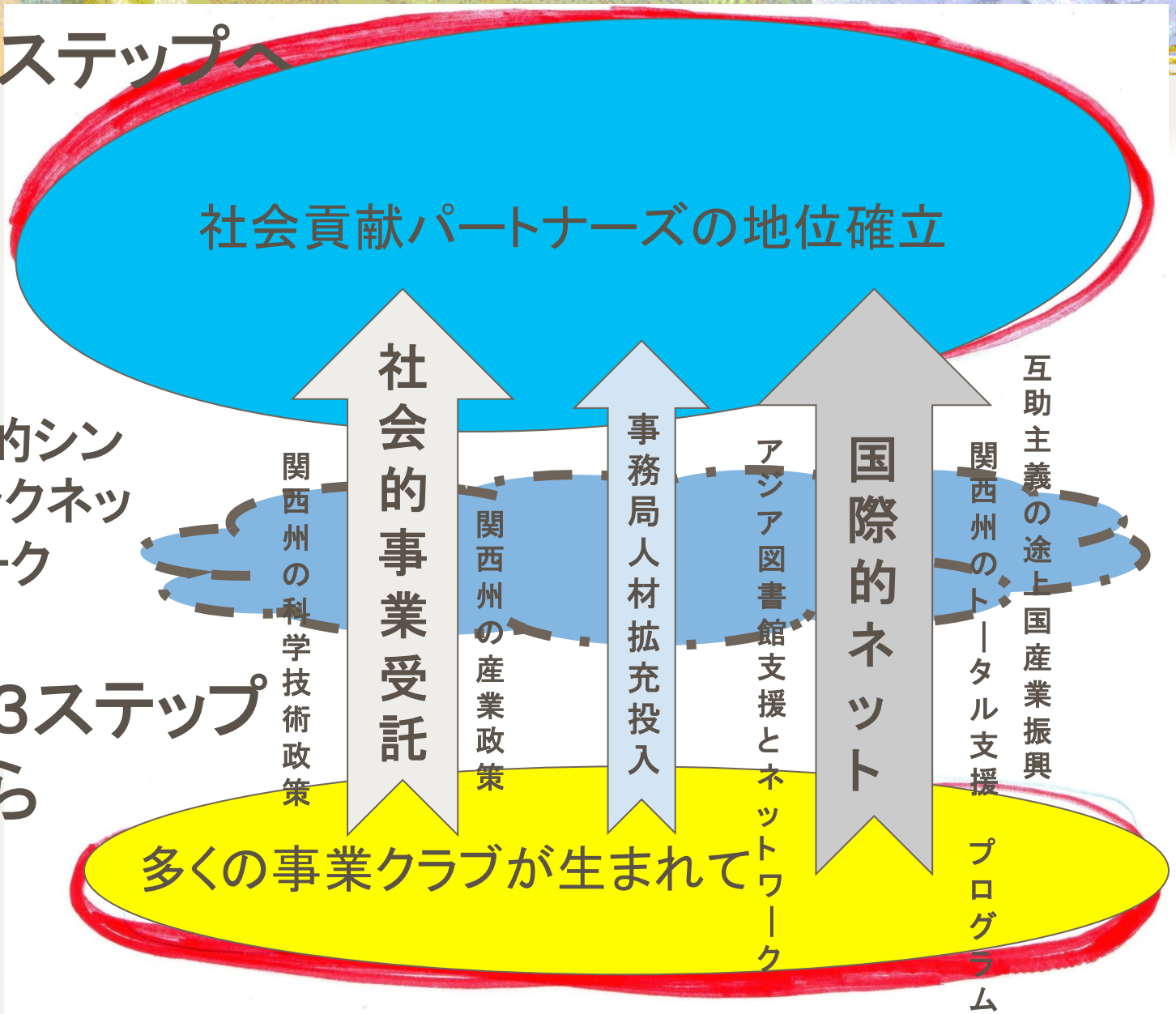
既存のプロジェクトとその発展段階位置づけ
それを前進



第3ステップへ

第2ステップから

第4ステップへ



戦略的シンクタンクネットワーク

第3ステップから

Mastersの発展過程とその飛躍キーポイント

資金提供者の集まり

4rd Stage

社会貢献パートナー段階

プロデューサーの集まり

3rd Stage

事業パートナー段階

サポーターの集まり

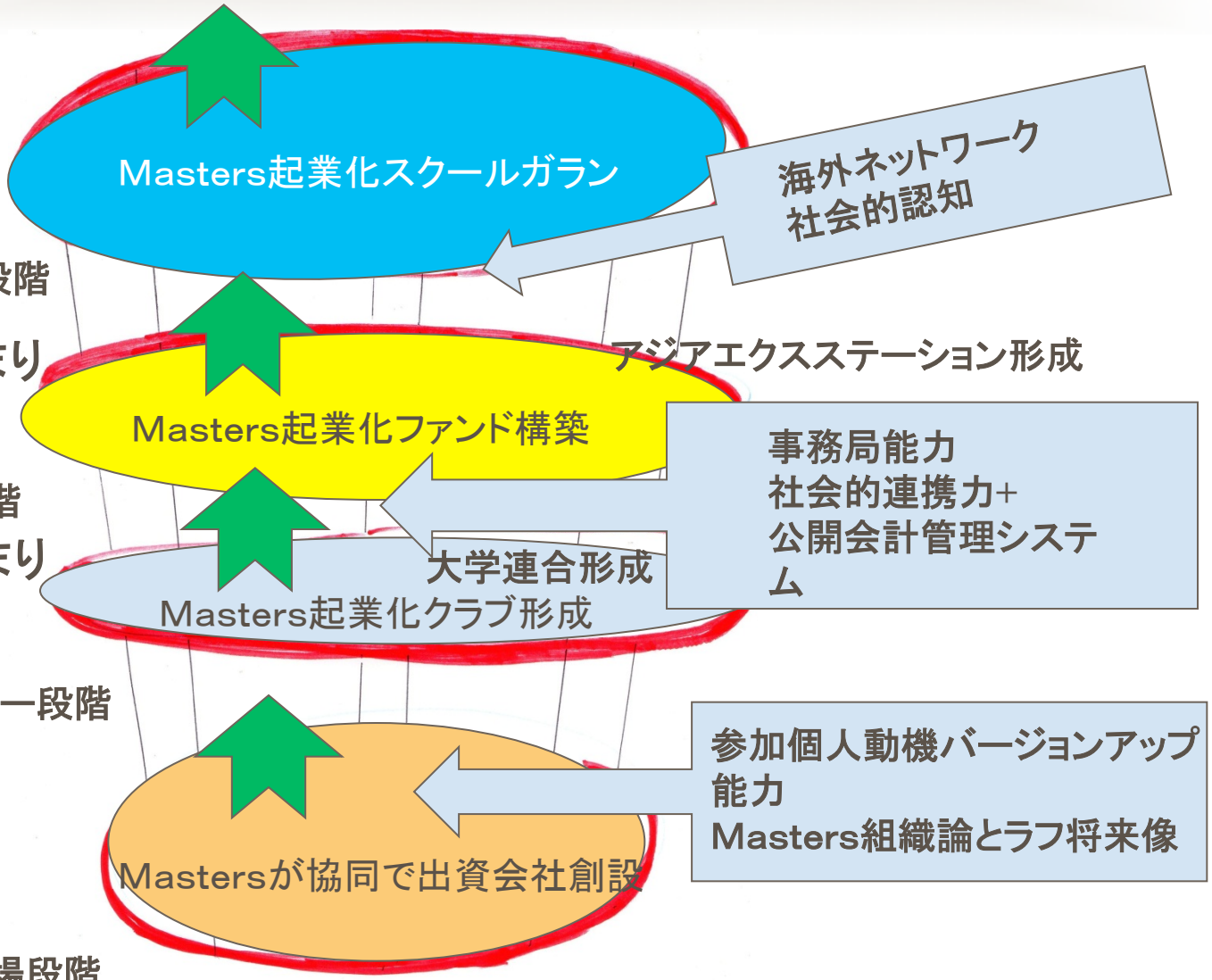
2nd Stage

セールスパートナー段階

ユーザーの集まり

Present Stage

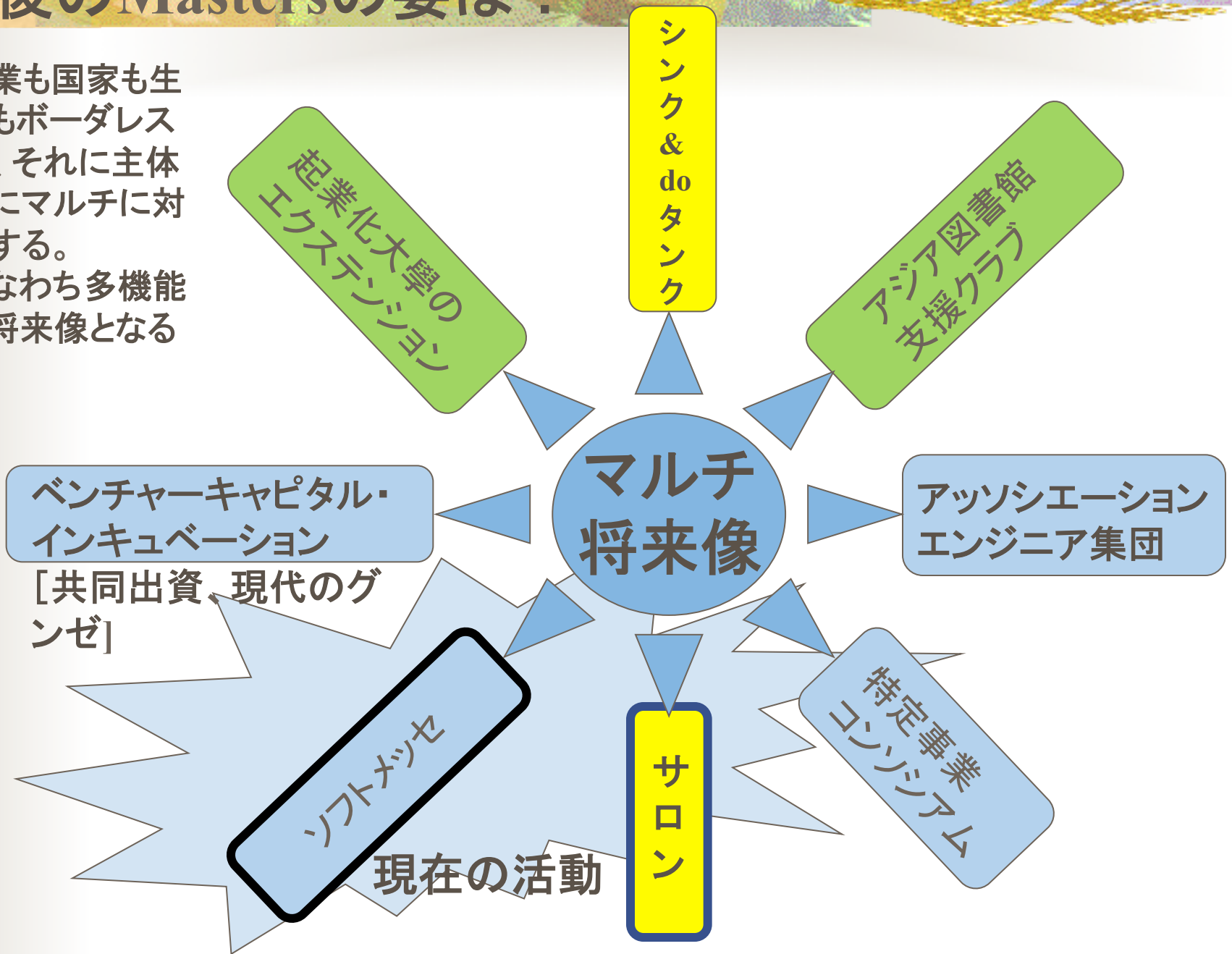
セールスマン市場段階



創造的変身の5か年計画

5年後のMastersの姿は？

企業も国家も生活もボーダレス化、それに主体的にマルチに対応する。
すなわち多機能な将来像となる



なぜ、シンク＆ doタンクか

○　戦略なきプロジェクトプロデュースは短命で、永続性がない。理念を持ったビジネスが重要
○　先行き不明な時代における水先案内人がいる。もう国に頼れない。
○　グローバル化の中で多くのビジネスが、国際的で、業際的、そして学際的だ。大学、行政、企業、市民の枠は限りなく不鮮明。
○　我々の自主学習、自主的事業を支える頭脳、調査研究を支える機能、これが、我々のシンク&doタンク

我々と地域のイノベーションを支えるThink&Do Tank

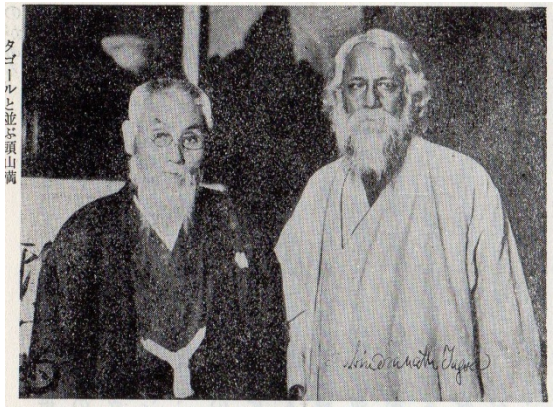
関西州とアジアと産業・起業

共存共栄　明治の先輩の後を継ぐ

昭和4年，蔣介石(右端)，頭山(左端)犬養(一人おいて)を招待す

孫文の遺志を継いで蔣介石と頭山満、犬飼毅、南京政府発祥を記念して1929年、南京

尖閣も竹島も北方四島も大アジア主義が土台でなければならない。この考え方の上にアジアの日jネスを構築すること。


タゴールと並ぶ頭山満

ラビンドラナハ・タゴールと頭山満

孫文は「日本の明治維新は、中国革命の第1歩、中国核目はダ2の明治維新」といい、アジア解放という同一のもくひょうをもつものだという大アジア主義を主張している。またインドをはじめとするアジアの独立を対等の立場で応援した遠山満　、玄洋社が注目される。アジアで尊敬され日本人である。